



菱型に組み上げた木材とガラスによる印象的な建物は、文芸学部教授の岡本清文によるデザイン



建物内はカフェを併設した自由な空間になっており、敷地に入ると会話はすべて英語に限定される



常に 8~10 人のネイティブスタッフが常駐し、学生はいつでも好きな時間に訪れて会話ができる



毎日開催される「アクティビティー」に参加することで、自然に日常英会話に触れることができる



英語上級者向けの教育プログラム「ACE (Advanced Communicative English)」も開講



春と夏の年 2 回、大学の休暇期間を利用して一般公開を実施。幅広い年齢層が参加し、連日にぎわう